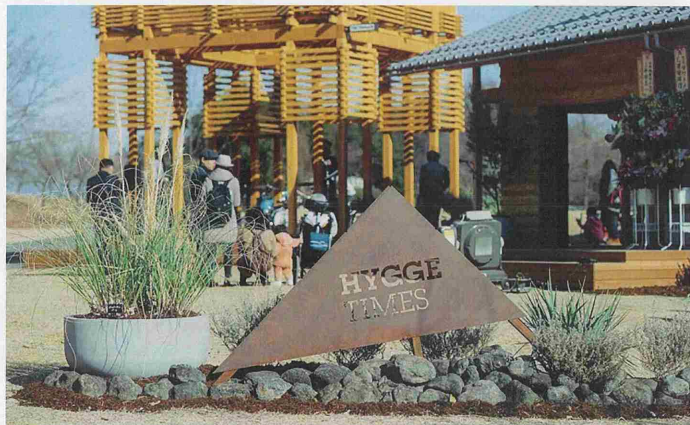




おまち

Vol.
124

2021. 5. 1 (隔月1回1日発行) 編集発行：群馬県土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係)



観音山ファミリーパーク



進め!!官民連携まちづくり

- 観音山ファミリーパークにカフェ(HYGGE TIMES)がオープンしました!!(Park-PFI)
- 「群馬県官民連携まちづくり基本方針」および「利用手続きガイド」について

【連載】 観光まちづくり最前線 地域を歩くレポート No.25

女性視点のまちづくりが始動!!～多摩市を“空から”一望できる新たな観光体験プロジェクト

【投稿】 中央公民館が優良公民館表彰で優秀館を受賞

～地域住民の活発な学習活動などが高く評価されました～

マーチィ'sROOM

- マーチィに訊け まちづくりライブラリーからおすすめの一冊
- マーチィ VOICE ファシリテーター紹介
- マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて

【まちづくりイベント情報】 県内で行われるまちづくりに関係するイベントの紹介・お知らせ

- マーチィの独り言





観音山ファミリーパークにカフェ(HYGGE TIMES)がオープンしました!!(Park-PFI)

群馬県 県土整備部 都市計画課

■ 制度概要

Park-PFI制度は、都市公園において、民間事業者等の資金や運営ノウハウを活用し収益施設を設置し、公園利用者の利便性を向上させるとともに、公園の賑わいを創出することを目的の1つとしたものであり、平成29年都市公園法改正により創設された制度です。

制度創設以降、数多くの公園において活用が進んでおり、令和2年7月時点で、全国48公園で導入されており、そのうち16公園で供用開始されています。

群馬県都市計画課が所管している都市公園においても、民間事業者との連携により公園利用者のニーズに対応するためこの制度の活用を推進しており、令和2年3月に県立敷島公園において、スターバックスコーヒー敷島公園店がオープンしました。

今回紹介する観音山ファミリーパークの事例は、本県2例目のものです。



制度概要

年度	Park-PFI 活用事例一覧 (48公園/41自治体、2地方広域圏、うち16公園供用)
平成29年度	北九州市【観音山公園】(面積20.1ha) 豊島区【浅草橋公園】(面積1.7ha) 福岡県【大塚中央公園】(面積13.3ha) 福岡市【水戸緑地】(面積0.4ha) 仙台市【桜岡公園】(面積11.2ha) 東京都【赤羽中央公園】(面積17.7ha) 新宿区【新宿中央公園】(面積8.8ha) 長野市【新緑公園】(面積27.3ha) 東京都【大塚公園】(面積11.4ha) 松本市【松本中央公園】(面積13.4ha) 群馬県【敷島公園】(面積17.4ha) 群馬市【敷島動物の森公園】(面積103.3ha) 埼玉県【中央公園】(面積1.4ha)
平成30年度	名古屋市【大塚公園】(面積15.8ha) 札幌市【中央公園】(面積17.7ha) 高崎市【中央公園】(面積17.7ha) 堺市【大塚公園】(面積15.5ha) 名古屋市【大塚公園】(面積17.7ha) さいたま市【さいたま中央公園】(面積13.8ha) 東京都【大塚公園】(面積11.4ha) さいたま市【さいたま中央公園】(面積17.7ha) さいたま市【さいたま中央公園】(面積17.7ha) さいたま市【さいたま中央公園】(面積17.7ha) さいたま市【さいたま中央公園】(面積17.7ha)
令和元年度	群馬県【観音山ファミリーパーク】(面積60.9ha) 福岡県【大塚公園】(面積15.8ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha)
令和2年度	東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha) 東京都【大塚公園】(面積17.7ha)

P-PFIの活用事例一覧

■ 観音山ファミリーパークでのPark-PFI事業について

観音山ファミリーパークは、「豊かな自然の息づく夢とやすらぎのある森の公園」をテーマに整備された60.3haの広域公園で、県民の自然とのふれあいや文化的レクリエーション活動の拠点として高崎市郊外の観音山丘陵に平成15年にオープンしました。

当公園は「県民参加型公園づくり」をコンセプトに、開園当初から群馬県と地域住民等との協働での公園づくりがすすめられ、多くの県民に親しまれています。

毎年実施している公園利用者アンケートでは、公園管理への満足度は非常に高いものの、遊具や休憩施設の不足、それらを求める意見が多くありました。

そのため、令和元年10月にPark-PFIの制度を活用し「公園利用者の利便性を向上し、当該公園のポテンシャルを活かし、公園及び地域の価値を高め魅力を創出する施設」の公募を行いました。

その結果、株式会社ヒトミヤ住建が事業予定者として選定され、令和3年1月にカフェを併用新たな憩いのスペース「HYGGE TIMES」がオープンしました。





■ 店舗概要

- ・ 店舗名：HYGGE TIMES(ヒュグゲタイムズ)
- ※HYGGE=デンマーク語で仲間や家族と触れ合う居心地のいい時間と場所
- ・ 運営者：株式会社ヒロミヤ住建(高崎市) 住宅等の建築工事の設計・施工を営業
- ・ 営業時間：10：00～16：00 ・ 定休日：月曜日、火曜日

■ 店舗位置

森のスボレク広場と多目的広場の中間地点に位置しており、この地点でカフェ等を営業し、比較的低利用の低いエリアに新しい需要を創出します。

■ 施設の構成

主に「THE KITCHEN(フード販売)」「THE LIVING(休憩小屋)」「THE TERRACE(日除けパーゴラ)」の3要素の施設から成り立っています。

当施設全体は、周辺の公園の部分と境界線を設けることはあえてせず、公園利用者の誰もが気軽に立ち寄りくつろいでいただけるよう配置が工夫されています。

「THE KITCHEN」では、ラオスで自然栽培された豆にこだわったコーヒーをはじめ、地元食材を用いた軽食のピタサンド、テイクアウトスープなども提供しており、本公園に今までなかった新たなサービスを提供しています。夏期には、遊具で遊んだお子さんにも楽しんでいただけるよう氷を用いた冷たいスイーツを検討しています。



また、夏の強い日差しを避ける日除けスペースがないという本公園の課題にも対応しています。

「THE LIVING」は、冷暖房を完備した山小屋風の休憩スペースであり、上記のような酷暑時のクールダウンはもちろん、冬期には薪ストーブが大活躍。とても暖かく心地よい空間が広がります。

さらに「THE TERRACE」では、トレリスという蔭棚のような木材を組み合わせた日陰スペースが象徴的にそびえ立ち、周辺に腰掛けながら比較的穏やかな環境で食事や休憩ができるようになっています。

さらに、周辺には乳児が寝転んだりハイハイしたりできる日除け付きの四阿風小屋フレームや、子ども達が落書きやコマ回しなどの昔遊びができるようなコンクリート平板敷の四阿風小屋フレームもあります。

このように、様々な公園利用者の方に多様な利活用の可能性が広がるのがHYGGEの魅力です。ひとりできつろぐもよし、友達と一緒に楽しむのもよし、芝生に寝転がってもよし、ワーケーションで活用するもよし、皆さんなりの楽しみ方を見つけてみてください。

今後は、公園管理者側とも連携して様々なイベント等の催しも企画されているようです。

詳しくは公式Instagram等で随時情報発信を行っていますので、チェックしてみてください。



Instagram



© hyggetimes.jp





「群馬県官民連携まちづくり基本方針」および「利用手続きガイド」について

群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチーム

1. はじめに

群馬県では、「公共施設・空間の民間活用を積極的に進める」ことにより、地域の活性化やエリア価値向上、県民の幸福度向上により持続可能な群馬県の実現を目指す「官民連携まちづくり」を推進しています。この取組にあたっては、県民・民間・群馬県の三方にメリットが生まれる「三方よし」となることが大原則となります。

今回、その取組の一つとして「群馬県官民連携まちづくり基本方針(以下、基本方針)」及び「公共施設・空間を活かしてあなたのまちを盛り上げませんか?～道路・公園・河川(河原)・公共施設の利用手続きガイド(以下、利用手続きガイド)」を作成しましたので、紹介します。



「三方よし」のイメージ

2. 「基本方針」について

基本方針では、取組の背景から活用の基本原則、具体的な取組を「ぐんまモデル」として明示しています。さらに、官民連携の役割分担や対象となる施設等を記載しています。群馬県における官民連携まちづくりは、この基本方針に基づき進めることとしています。

●基本方針

群馬県は、「公共施設・空間の民間活用を積極的に進める」ことにより、地域の活性化やエリア価値の向上、県民の幸福度の向上により持続可能な群馬県の実現を目指します

●基本原則

- ①地域の魅力(エリア価値)向上につながる活用であること
- ②県民・民間・群馬県の三方にメリットが生まれる活用であること
 - ・県民への多様なサービス提供の一助となるもの
 - ・民間の実施主体に利益をもたらし、持続可能なもの
 - ・地域価値の増加による税収増、利用料の納付又は維持管理費の低減につながるもの
- ③他の利用者の対象地利用(本来目的での利用)を著しく妨げるおそれがない活用であること



基本方針の表紙



利用手続きガイドの表紙

3. 「手続き利用ガイド」について

「各施設を利用するための手続きがわからない」「手続きが煩雑のため利用する気持ちにならない」といった民間事業者の声を受け、現行基準における必要な手続きをとりまとめました。施設ごとに手続きを簡略なフローで説明するとともに、全国及び県内の先進事例を掲載し具体的な活用がイメージできるように工夫しています。利用手続きガイドは、各基準の変更に合わせて、随時更新します。また、本編のほか、簡略版の民間事業者向けパンフレットも作成していますので、ぜひご活用ください。

4. ぐんまトライアル・サウンディング

トライアル・サウンディングとは、行政が所有する公共施設等の利用を希望する民間事業者を募集し、一定期間の「お試し利用」をしてもらう制度です。民間事業者は、使いたい公共施設等があっても、どのようなニーズがあるのかわからなければ、事業を進めるのは難しいでしょう。そこで、お試し利用により民間事業者は立地、使い勝手、採算性等、集客の反応をみることができます。行政にとっても、集客力、信用、施設との相性、維持管理状況等を確認することができます。今後は、群馬県所有の公共施設等を対象にトライアル・サウンディングが広がっていくようPRしていきたいと思っております。

5. さいごに

この取組は、まだまだ始まったばかりです。民間事業者による積極的な公共空間の活用に向けて、群馬県庁官民連携まちづくりプロジェクトチームが取組をサポートしていきます。また、県の取組だけでは、まちづくりは成り立ちません。引き続き、市町村、民間事業者との連携が重要になりますので、興味のある方はお気軽にご相談ください。





女性視点のまちづくりが始動!!

~多摩市を“空から”一望できる新たな観光体験プロジェクト

帝京大学 経済学部 観光経営学科 大下ゼミ

日本の長い歴史の中で人口増加が期待できない時代には女性が活躍して文化を創り出し消費を拡大してきた一ゼミの教員・大下先生の授業での自説(持ちネタ)です。多摩市役所もその影響もあったのか「多摩市観光まちづくりにおける女性視点を入れたチームの設置(2020年11月)」を検討、私たちがこれからのまちづくりに関して新たな工夫のひとつである女性視点を活かした「ゆるい」まちづくりの第一歩となるイベントを企画・実践することになりました。

■「現実対比」をテーマとした新たな観光体験・SORAKARA(ソラカラ)Project

多摩市は、1960年代の多摩ニュータウンの開発に伴い、ベッドタウンのイメージが強い中でも、サンリオピューロランドがあることを活かし、「ハローキティに会える街」として観光まちづくりを展開している地域です。しかし、近年はアニメの聖地として、コアな顧客層に注目され、新たな地域イメージを模索している地域でもあります。

私たちは、これからの多摩市観光を見据える中で、「現実対比」のコントラストをテーマとした新たな観光体験により集客を実現することができるのではないかと考えました。そこで、「現実対比」の典型例として、近年建設が進んでいる高い建物からの展望・眺望をまるで、アニメキャラクターやドローンのように浮遊し、「空から」見ているような観光体験を提供することができるプロジェクトとして、「SORAKARA(ソラカラ)Project」を創出しました。

■ターゲット「乙女」の誕生について

過去の多摩センターイルミネーションの来場者アンケートの結果から、女子高生や女子大生が多いということが分かり、「女子学生」を「乙女」と捉え、メインターゲットとしました。

そこで、乙女向けの企画を考える際に私たちは、乙女のイメージを考え、中学生や高校生の頃に、女子は恋ノナに花を咲かせていたことを思い出し、そこから「恋愛」をテーマにした神社を作るという企画が生まれました。

さらに、乙女のイメージと、多摩センターにあるサンリオピューロランドのイメージから、パステルカラーを基調とした、「ゆめかわ」な要素を入れることで、より乙女な空間を演出しました。

■「ゆめかわ×和」で新しい空間演出に!!

SORAKARA(ソラカラ)Projectの第1弾として、2020年12月22日と23日の2日間、多摩センターイルミネーションをコラボリア多摩センター7階のコリアホールから全体を俯瞰するイベントを「空中散歩ツアー〜ゆめかわへの誘い〜」と命名しました。

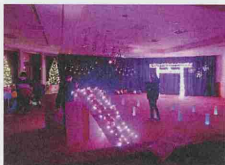
空間演出としては、「ゆめかわ×和」をテーマにSNS映えするアイテムを考えました。「洋のクリスマス」と「和の縁結び」の組み合わせは、一見ミスマッチに思えますが、乙女の求める恋愛要素という点で一致していることを利用し、空間演出を行いました。具体的には、淡いピンク色に輝くゆめかわ神社の鳥居や、ツリーに飾り願いを込めるハートの絵馬、パステルカラーに光る鳥居の道などを設置しました。

今回は女性視点のまちづくりの小さな一歩かもしれません。しかし、多様性を認め合うまちづくりへの大きな一歩であると思います。今後の「SORAKARA(ソラカラ)Project」と「乙女プロジェクト」の第2弾、第3弾とつながっていくことを期待し見守りたいです。

(岡田美空、小沼朱音)



21階建・帝京大学のタワーからの眺望も、恰好のSORAKARA風情。都庁やカシヅツリ、眼下には湾岸の緑が眺められます。



SNS映えを意図したアイテムの前で……想定どおりの「バシャリ」!



「ゆめかわ×和」のテーマをイメージ化した集客ポスター。鳥居・花火・和傘等を会場に配置しました!



会場のカラースタンドに映す「ゆめかわ」と眼下のリムライトイルミネーションカラーに……幻想的な写真も撮られました。





中央公民館が優良公民館表彰で優秀館を受賞 ～地域住民の活発な学習活動などが高く評価されました～

邑楽町中央公民館

■ 中央公民館建設は30年越しの悲願

邑楽町中央公民館は、旧邑楽町公民館の移転・新築とホール建設を兼ねて計画されました。昭和62年に町の総合計画に位置づけられ、約30年の間に2回の建設を求める署名運動もあり、平成30年9月1日にオープンしました。9月1日、2日にはオープニングイベントを開催し、2日間で約5,500人の方が来場し盛大な賑わいを見せました。

建設場所は邑楽町のほぼ中央に位置し、町民自身が表現者・発信者として新たな文化を創造し発信する場、町の知名度を高め交流人口・定住人口を創出するまちづくりの拠点と位置づけました。建設には、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)などを活用しました。



邑楽町中央公民館(外観正面)

■ 群馬県73年の歴史の中で初の選出

優良公民館表彰とは、地域の実情に応じ、事業内容や方法に特に工夫をこらし、地域住民の学習活動などに大きく貢献している公民館を選ぶもので、各都道府県教育委員会から推薦のあった公民館を文部科学大臣が優良公民館として表彰するものです。今回、全国から推薦のあった65館を文部科学大臣が表彰。さらに審査を経て、邑楽町中央公民館が優秀館(第2位)に選出されました。優秀館選出は、群馬県73年の歴史の中で初の快挙となりました。

審査員からは「不利な立場の人こそ、学習権を公民館で保障するという構想の下、知的障がい者の自立した生活や余暇活動の充実を目指す継続的な取り組み」や「公民館の移転・新築の際、住民参加型の組織を立ち上げ、住民のニーズと地域課題を丁寧に議論してきた取り組み」などが全国の公民館の模範となるということで高い評価をいただきました。



485席を備えた邑の森ホール



会場が一つになったオープニングイベント
(500人合唱)

■ 今後の展望・取り組み

少子高齢化、地域のつながりの希薄化等、様々な課題が山積する中で、人生100年時代を見据え、一人ひとりがいかに幸せな人生を歩むのかを、公民館がこれまで培ってきた地域とのつながりを生かし、住民自身が主役となり地域力を育む「学び」を実践するための拠点となるよう、公民館が果たすべき役割は重要であると考えます。

地域住民の自主的な学習活動の支援や地域課題を解決するにはどうしたらよいのかを常に考え、地域のニーズを的確に把握する必要があります。そのためにも、日頃からアンテナを高くし、利用者や地域住民の声に耳を傾け、地域住民が、より豊かな生活を送るには、より幸せに感じる社会には何が必要か、どうしたらよいのかを問い続けています。最後に、「人づくりは、まちづくり」を基本に、地域社会で大きな役割を担う公民館が、地域に向き合って、「教育と文化のまちづくり」をさらに発展的に取り組んでいきます。





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出してくれます!
「古民家への道 民家再生-日本を住む」 著:松井郁夫



今号のおすすめ
ライブラリーは
こちら!



理想の古民家と巡り会い、渋川市へ移住したというご家族の記事が上毛新聞(2/28)に掲載されていました。コロナウィルスの感染拡大は、地方暮らしへの関心を高め、空き家となっていた多くの古民家を見直すきっかけにもなったようです。

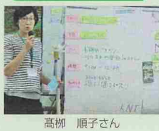
この本は、これから古民家に住みたい方、古民家再生に携わりたい方のために、その実践技術と事例が写真と図面で紹介されています。古民家という古い暗い寒いという印象がつかまいますが、地震や台風にも耐え、気候風土に合わせた家づくりの知恵と工夫は現代の住宅づくりにもいかせると著者は考えています。古民家のよさをのこしつつ、現代の生活様式にあわせた住宅づくりのためにどのような工夫がされているのかについては、実践事例の中で詳しく紹介されていますのでそちらをご覧ください。

古くなったという理由だけで捨てられていく古民家がたくさんあるそうです。日本らしい美しい建物を残したい。美しい街並みを守りたい。古民家に残る伝統技術や資材、歴史や文化に培われた豊かな暮らしを後世に伝えたいとお考えの方におすすめです。ぜひ一読ください。

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

南牧村地域おこし協力隊OB 高柳 順子



高柳 順子さん



講座の様子

令和元年度「魅力あるまちづくりのパートナーネットワーク講座」に参加して、ファシリテーターの役割や、参加者を合意形成へ導いていくための秘策など様々なことを学ぶことができました。入門編、発展編、応用編という3回の講座の中で、これだけのことを体験できるということは、講座に関わっているすべての方々の想いがひとつになって、中身の濃いものに仕上げてくださいているのだなと改めて感じています。

また、ワークショップの開催・進行にあたって、参加者の意

見を引き出したり、議論を円滑に進めたりする調整役のファシリテーターですが、自身が参加者の皆さんとその場を楽しむ気持ちを持つことが、話し合いを円滑にまとめていくために必要であると学ぶことができました。

参加当時は、地域おこし協力隊としてどのように地域と関わっていけばいいのかわかると思いをめぐらしていましたが、講座に参加して、自分自身が楽しむという「初心」に戻ることができました。この経験を今後の活動や地域活動に活かしていきたいと思えます。

※パートナーネットワーク講座は令和元年度で終了しました。

マーチィの掲示板 県・市町村人事交流を終えて

貝瀬 康斗(館林市→群馬県土整備部都市計画課都市計画係)

平成31年度より人事交流職員として派遣され、あっという間の2年間でした。配属された当初は、経験したことのない仕事で、環境も異なり本当に毎日が不安でした。今まで自分のまちのことを考えて仕事していたものが、他のまちのことを考えて仕事をするという感覚にも慣れず、気持ちを切り替えるのに時間がかかりましたが、県都市計画課の皆様のおかげで無事派遣期間を終えることができました。唯一の心残りは、前橋市で一人暮らしを始めた瞬間にコロナ禍で外出自粛になり、一人暮らしを満喫できなかったことです。また、2年間の在籍によりすっかり県の環境に慣れたため、今度は派遣元へ戻るのが不安です…

派遣元と比較すると県内外の事例や情報が入ってきやすく、政策の立案・検討等を行いやすい環境である一方で、県内の広範囲を見るためより深い知識が求められることから、実際に業務を通じてその難しさを感じました。

令和3年4月からは派遣元へと戻り、引き続き都市計画に携わるため、この2年間でできた人とのつながりや学んだことを活かせるよう精一杯頑張りたいと思います。

これまで関わってきた県都市計画課の皆様をはじめ、各市町村の方々には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



まちづくりイベント情報

※新型コロナウイルスの影響により開催中止、延期の場合があります。予めご了承ください。

岩槻真田忍者ミュージアム「にんぱく」がオープン!

全国から集めた忍者の武器・道具など300点以上を展示する、圧倒的な資料点数を誇る忍者ミュージアム。最新映像技術による演出も楽しめます。

■4月29日(祝・木)～
水曜定休(祝日は開館)
10:00～16:00
■埼玉県東武東上線大原町624-4
【お問い合わせ先】
岩槻城忍びの乱 代表 藤藤
TEL:080-6708-5431



第29回 たてばやし菖蒲まつり

期間中は、楽語の演奏などイベントが開催されます。

■6月5日(土)～20日(日)

終日

■館林花菖蒲園

(つづしが尻第二公園)

【お問い合わせ先】

館林市観光協会

TEL:0276-74-5233



箱島ホタルの里

今では見ることの少なくなったホタルが出現。ゲンジボタルとヘイケボタルが同列に見られる貴重な場所。ゲンジボタルの見頃は6月中旬～下旬、ヘイケボタルの見頃は7月初旬～下旬。

■6月中旬から7月下旬

20:00～21:00

■埼玉県東武東上線大原町 地内

【お問い合わせ先】

東武東上線夜鳴 まちづくり推進課

TEL:0279-68-2111



……おしらせ……

令和3年度も「歩道空間オープンテラス」社会実験を継続します!

令和2年7月から、新型コロナウイルス感染症の影響を受け飲食店等の支援及びまちの暮らしを楽しんでほしいとする環境づくりとして、県管理道路の歩道空間を飲食店等のテラス営業に利用していただく「歩道空間オープンテラス」社会実験を実施してきました。令和3年度も、多くの飲食店等に出演していただくために、引き続き実施することとなりました。

取り組みに応募した飲食店等に対し、道路占用申請手続き等について、県が引き続き支援を行います。なお、実施期間中は、道路占用料が免除となります。

社会実験に参加希望の店舗がありましたら、下記応募フォームから応募ください。



1. 実施期間 令和4年3月31日(木)まで
2. 募集期間 令和4年2月15日(火)まで
3. 対象者 商店街組合等の団体、飲食店等(1店舗単独で応募可能)
※ただし、1店舗の場合は、自店舗前活用の原則とします。
4. 歩行路線 県管理道路において、占用後に2.0m以上の歩道空間を確保すること可能な区間。
※歩行者が多い箇所は、3.5m以上の確保が必要です。
5. 応募方法 社会実験用のWEB応募フォームから応募
6. 問い合わせ先 群馬県都市計画課まちづくり企画推進係
TEL:027-226-3661



帝京大学 経済学部 観光経営学科

Faculty of Economics, Department of Tourism Management

幅広い教養、豊かな国際感覚、確かな専門知識と行動力をお互に持つ人材を育成します。

- ・観光産業を経済学、経営学の流れの中で学ぶ。
- ・旅行業務取扱管理者資格取得に向けて、万全のフォロー体制。
- ・実地で旅行業務が学べる「実習授業」が豊富。

八王子キャンパス
オープンキャンパス 2021日程(予定)
●総合実習学科
●特待生ホームページをご覧ください。

6月13日(日)・7月11日(日)
8月9日(日/振)・10日(火)
9月19日(日)

TEL:0120-508-739 URL:http://www.teikyo-u.ac.jp

まちづくりラボ・サルベージ株式会社

- ・観光事業 (PR) 支援
- ・イベント企画・運営支援
- ・特産品を活用した商品
ご当地メニュー開発
- ・観光市場調査



「伊勢崎市境島村まちづくり推進事業委託」他各地でお世話になっております。

TEL:042-726-8618 Fax:042-729-8610

マーチィの独り言



皆様にあえてきた本誌「おっまっちィ〜」も、創刊から22年目の春を迎えました。令和3年度は、村上、堀口、浅川、飯塚、小谷野、大隅、石井の7名で担当させていただきました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で、県でのイベントが中止や延期になり、イベント情報コーナーが寂しい時もありましたが、オンライン配信やモバイルスタンプラリーなど新たな取り組みが始まりましたね!! コロナ禍での開催は、たくさんのお苦労があると思いますが、「おっまっちィ〜」では、掲載する記事やイベント情報を随時募集していますので、希望がありましたら、お気軽にご連絡ください。それでは、今年度もよろしくお願ひします♪



有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。

【お問い合わせ先】
群馬県国土整備部都市計画課まちづくり室(企画推進係) TEL:027-226-3661 URL:http://www.pref.gunma.jp/07/n5800127.html